



かめやま文化年2017

みつめる つながる ががやく

最新情報

このコーナーでは、3年に一度の文化の祭典「かめやま文化年2017」の取り組みをご紹介します。



問合せ先 市民文化部文化振興局
文化スポーツ室 (☎84-5079)

企画事業



かお
"まち薫る"
～亀山茶と暮らす～

「台湾と日本の茶文化交流

～ Japanese & Taiwanese tea experience ～

“亀山茶と暮らす”事業では、暮らしの中にお茶を定着させることを目的として、茶摘みとお茶づくり、中国茶・日本茶の淹れ方教室に取り組んできました。

その集大成として、世界のお茶に目を向け、独特の茶文化が根付いている台湾の茶文化を体感することで、あらためて日本の茶文化を見つめ直すことをテーマとした茶会を開催します。

参加ご希望の方は文化スポーツ室 (☎84-5079) へお問い合わせください。

- 日本茶の茶席と台湾の茶席を両方体感していただけます。
- 日本茶、台湾茶の茶席は、右記の8人の茶人により行います。
- 申し込みの際に、ご希望の茶席があれば申し添えください。
(定員に限りがあるため、ご希望に添えない場合もあり)



～宝くじの助成金で実施します～

この事業は、宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源として実施しているコミュニティ助成を活用しています。



とき 12月2日(土)

第1部 午後1時～2時30分

第2部 午後3時～4時30分

ところ 市文化会館
中央コミュニティセンター

参加人数 96人(先着順)

参加いただく茶人(順不同・敬称略)

- 日本茶
櫻井焙茶研究所、中山福太郎、
のじまきよみ、海老名大樹
- 台湾茶
Xiaoman Shieh、Peru Peiru、
チャスルーきちや
茶絲道 堀口一子、龔茶

関連事業



“亀山まほろば街道”
KAMEREKI 学びい〜舎 や 郷土史研究発表会

亀山ゆかりの歴史について、市民による研究発表を行います。
ご興味のある人は、ぜひお越しください。

とき 11月9日(木) 午後1時30分～4時

ところ 市文化会館内市民ロビー

題目 幕府御用達「伊勢八」- 加太八兵衛、元禄遊び人「英一蝶」など はなぶさいつちょう

参加費 500円(資料代、お茶など)

※発表会終了後に談話会があります。

問合せ先 コミュニティ Café ぶんぶん (林 ☎ 090-1479-8962)

✉ bunbunkame.@gmail.com





関連事業



“かめやま音楽堂”
亀山ミュージカル
 日本書紀 壬申の乱より **鳳飛伝**

亀山市文化大使で元宝塚歌劇団雪組の小嶋希恵さんが総合プロデューサーを務め、プロの俳優3人と、公募により集まった市民約70人によって創り上げられた、オリジナルミュージカルが上演されます。

とき 11月26日(日) **出演** 鳳樹いち (元宝塚歌劇団宙組)
開場 午後1時30分 **光海舞人** (元宝塚歌劇団宙組)
開演 午後2時～ **和泉佑三子** (元宝塚歌劇団宙組)
ところ 市文化会館大ホール **一般公募による**
チケット料金 2,000円(全席指定) **役者・ダンサー**
 ※3歳以上は有料、2歳以下は入場不可
問合せ先 亀山市文化会館 (☎ 0595-82-7111)



小嶋希恵さんからのメッセージ

2017年度の亀山ミュージカルは、日本書紀の「壬申の乱」をテーマにやろう!と決めたのが今から1年前のこと。難しい素材でしたので、台本ができあがったのがなんと! 3月前。今回は、大海人皇子おおあまのみこに鳳樹いち、中大兄皇子なかのおおえのみこに光海舞人、額田王ぬかたのおおきみに和泉佑三子と、3人の宝塚出身者と市民約70人による、亀山市オリジナルミュージカル『鳳飛伝』をお送りします。また、日本書紀に出てくる鈴鹿の関、亀山の昔ばなしも交えた内容となっていますので、ぜひあわせてお楽しみください。



“かめやま音楽堂”
第36回 さいまつコンサート



さまざまな音楽団体による演奏と、亀山市文化大使の寺岡清高さんの指揮による「第九」の合唱が行われます。

とき 12月3日(日)
開場 午後1時30分
開演 午後2時～
ところ 市文化会館大ホール
チケット料金 500円(全席自由席)
問合せ先 亀山市文化会館 (☎ 0595-82-7111)



寺岡清高さんからのメッセージ

早いもので、亀山で第九をご一緒して今年で17年目になりますが、参加者一人ひとりの音楽的な、そして何より心の成長があるからでしょう。毎回新たな発見があります。今年の本番はどんな花が咲くのか、今から楽しみにしています。皆さん、ぜひ会場でお確かめください!